

第 34 回 地域社会の価値

人口減少社会に突入し、消滅可能性が叫ばれはじめ 10 年以上が経ちました。ここで、改めて地域社会とは何か考えてみました。

全国の小規模町村は、中心都市から離れた地域で、過疎化が進行しており、人口の流動が都市部へ集中していることが大きな原因とされています。早稲田大学の宮口名誉教授は、「過疎化が進行している小規模町村でこそ、支え合う地域社会の改めての創造に、行政は本腰を入れるべきである」と指摘されています。

もともとわが国の地域社会では、経済活動とは別に集落や地区単位のさまざまな支え合いがあり、お祭りや行事も多く、経済活動とは別の社会論的価値がありました。しかし過疎化が進み、多くの地域で昔どおりに行うことが困難になってきました。人の構成が変わってしまった今、人と人の関係の上に成り立ってきた仕組みを、今の人数と構成に合うように作り替えていくことが地域社会の望ましい存続には必要なことです。

人口減少社会では新しい単位で人が活動し支え合える組織やグループが育つことが必要で、そこでの元気な高齢者の役割は大きく、それが都市にはない地域社会の価値の創造になるはずです。松崎に住んで良かったと思える声が多く飛び交うまちを目指しましょう。